

物流施設の最適配置について

岐阜大学工学部 正員 因 昭二

1. 物流施設の配置の問題

物的流通は、工業製品而言いは生産物の生産と消費における場所的時間的な“ずれ”を補完する活動と考えることが出来る。そして、場所的ずれは輸送活動によつて、時間的ずれは保管活動によつて補正され、その他荷役活動、標準化活動などは輸送と保管活動に付帯して“3不可避の活動”であると言える。これらの活動に対応する各種の物流施設は、ラインの作道路、線路、航路等、不動的でトラックターミナル、複合ターミナル、鉄道駅、港湾、流通加工基地、卸売店舗、倉庫などとに分けられる。この報告は後者のポイント的な物流施設に限定して、その最適配置について考察した。

我が国の産業構造は、1950年代は重化学工業化ととけ、60年代後半より大規模な素組加工型から組立販賣中心とする多種少量生産の知識集約型へと変化するにつれ、遠隔地の大規模素組生産基地→流通拠点における中間加工基地→大都市における知識集約型高度加工業の集中地といふ生産配置パターンを形成しつつある。これらシステム型の産業の生長は、生産における分業のネットワークをますます強化することによって、全体として巨大な生産集合体を作るところにある。したがって、この生産集合体の成立を可能にするためには、分業のネットワークにおける物的流通システムの形成が重要な条件となる。それ故、物流施設の配置は、従来のような製品別の流通システムの最適化や個別企業の流通システムの最適化を目的としてこれまでではなく、生産集合体に対する物的流通システムを最適化する目的でなければならぬ。

2. 最適化の基準

物流施設の最適配置の評価基準は、生産集合体の全体の生産性を高めようために物的流通システムが最適化されなければならないから、生産集合体に対する物的流通システムの総コストを最小化することである。

いまここで、生産集合体の全体を図のようにモデル化して原材料から完製品までの間の多くの加工、組立段階のうちオペレータの製品段階をオペレーター次製品段階と呼び、オペレーター次製品段階の生産コストを MVC_i とする。この製品の流通をオペレーター次流通と呼び、その流通コストを PDC_i とする。そして、オペレーター次流通における輸送、保管、荷役、包装、その他のそれぞれのコストを $TC_i, SC_i, HC_i, PC_i, OC_i$ とする。よって、オペレーター次流通コストは次のようになされる。

$$PDC_i = TC_i + SC_i + HC_i + PC_i + OC_i$$

従来の物流システムの最適化は、オペレーター次流通とオペレーターK次流通とはそれぞれ独立に各段階で最適化されねばよかつた。したがって、次式のように、段階の流通コストを最小化すればよくなる。

$$\text{オペレーター } k \text{ の場合 } PDC_i \rightarrow \min., \quad PDC_k \rightarrow \min.$$

生産集合体に対する物的流通システムの最適化は、次式のように流通システムの総コストを PDC を最小化すればよい。

$$\text{Total } PDC = \min. (PDC_1 + \dots + PDC_i + \dots + PDC_k + \dots + PDC_n)$$

したがって、輸送コスト以外の流通コストが物流施設の位置的変化によって変わらないとするならば、物流施設の最適配置は物的流通システムの総輸送コストが最小になるような位置に配置すればよいことになる。

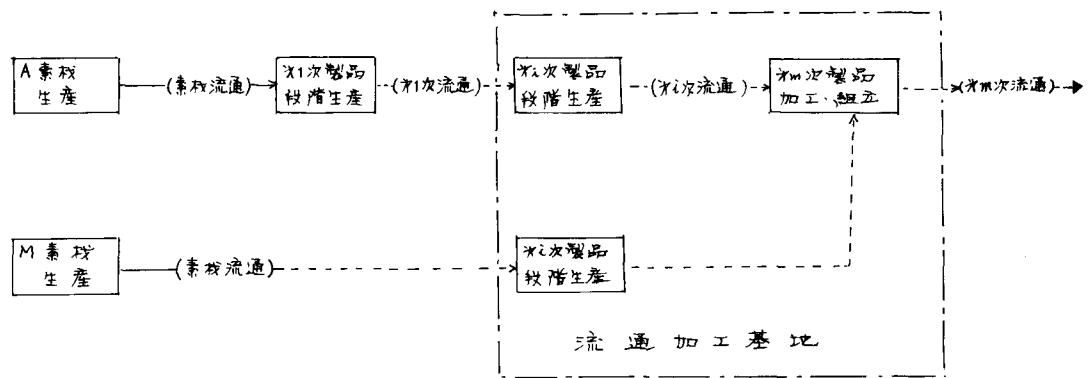


図 システム製品の物的流通システム

3. 流通加工基地を考慮した場合

生産集合体のうちオルタネート製品段階から流通加工基地化されて、輸送コスト以外の流通コストも変化する場合を考えてみよう。基地内における加工、組立による生産コストを MCC とし、基地外の総運搬コストを MHC とすると、物的流通システムの総コストの最小化は次のようく表わすことができる。この時、各製品段階の生産コストが流通加工基地の参入によって変化しないし、特に流通加工基地での生産コストは基地化されない場合より高くならないと仮定できるものとする。よって、

$$\text{条件} \quad (1) \sum_{k=1}^{i-1} MVC_k + MCC \leq \sum_{k=1}^i MVC_k$$

$$(2) MHC \ll \min (\sum_{k=1}^{i-1} PDC_k)$$

$$\text{Total } PDC = \min (\sum_{k=1}^{i-1} PDC_k + PDC'_k + MHC + PDC'_n)$$

ここで、 PDC'_k 、 PDC'_n は基地化 k つ \rightarrow n 流通段階が変更した時の流通コストの変化を表す。

この場合の物流施設の最適配置は、総輸送コストの最小化だけでは不可能で、輸送施設と貯蔵施設のネットワークを考慮して行なわなければならぬ。すなまち、差業立地の条件を満しうるような配置も検討しなければならぬ。